

第4回 若手教員自主研修会

8月7日(木)に、若手教員自主研修会の第4回目を開催しました。今回は、滑川市立南部小学校の柿沢小百合先生を講師にお迎えし、「楽しい音楽の授業」をテーマに、ご指導をいただきました。

○音楽遊び

「うさぎとかめ」のリズムに合わせ、ペアで肩たたきを行う音楽遊びを体験しました。鉄腕アトム等の楽曲を流しながら、ペア替えを何度か行い、様々な人と音楽遊びを楽しみます。こうした活動は、心の開放する場づくりや、認め合える集団づくりにつながることを学びました。

また、ペアから3人組、そして全員で一列になるなど、人数やリズムの変化(「うさぎとかめ」のテンポを速くする)によって、活動に変化をつける工夫についても教えていただきました。

○リコーダー初期指導

続いて、リコーダーの初期指導について学びました。まずリコーダーを分解し、上部管だけでの音を出す練習を行い、ブレスコントロール(強く吹く・弱く吹く)を体験しました。

また、「フー」と吹き込んでいる場合は、「トゥー」と実際に発音しながら吹くことで、音の質が変化することを体験しました。このように、正しい吹き方を身に付ける手立てや、早く吹きたいという児童の気持ちを大切にしながら指導することの必要性を学びました。

○歌唱指導

歌唱指導については、具体的な指導ポイントを教えていただきました。

- ・姿勢：「頭のとっぺんがお空から引っ張られている感じ」と伝えることで、実際に背筋が伸び、よい発音につながる。
- ・歌声：「もっと大きく」というと子供がどなってしまふことがあるが、「声を遠くに届けよう」と表現することで、適切な響きが意識できる。
- ・呼吸：「おなかの風船を膨らませて」と伝えると、深く息を吸うイメージをもちやすい。

これらの指導ポイントを意識しながら、実際に参加者全員で歌い、歌うことの心地よさを体感しました。

○質疑応答の時間

休憩時間には、自然と質疑応答の時間が生まれ、ご自身の豊富なご経験をもとに、丁寧にアドバイスしてくださいました。



【音楽遊び】



【リコーダーの初期指導】



【歌唱指導】



【休憩時】

Q 1 歌声が響かない

A 「～へ向かって歌うよ」と伝える。声を遠くに届けようという意識で歌えるようになる。

Q 2 歌声が小さい

A しっかり息を吸わせる。「おなかの風船を膨らませて」と伝えるとイメージが沸きやすい。また、息を吸うタイミングを伝えるとよい。

Q 3 どなって歌う

A 「周りの声を聴きながら歌うよ」と伝える。「頭からシャワーみたいに」とイメージをもたせると声が柔らかくなる。

歌唱指導のあれこれ

おもしろこと

しせい

りょうあし べたん
せすじ ま
お目ま ぼり
お口 まんま

縦加重の子、机やいすに手をついてはりかちの子は、その場で、ではよこに、りょうあしでいかりたよ。

おなかは出さなよ
あたまたて、べんが、お空からひぼられてるよじ

どびり、ビー玉のお目まで

指をたてに4本入るくらいあけて、のどらんこみえる人いいね。

ほ、やた UP
ほ、やた UP

にっこりえがおで、
だけど、めは、まんままで、
ほ、やを () けてあげると、明るい声かてるよ

ここからは、歌わせながら、指導も?

Q 1

- 声は、遠くに — 体育館の一番後ろのお客さんに向かって届けるよ
2Fギャラリーへおぼつたの念にむかえてくれ
「もと大きX
どびりお
- 歌の前に、おなか、いぼい
息をすいこんで

いほのだと、一番前のお客さんといほね。
" まんまのお客さんといほよ。

肩をあげない X 胸をあげない、背を
おなかのうせんをふくらませて、
こしにもうせん入てるよ、大きくしてすて
手は、前奏1・2③④
足の指の先で息をいこんで、うたよ。

Q 2

イメージ的に、
大きいうたに
なるよじ

Q 3

どなってしまう子には、
男子におから、
音程もフラット。

まわりのお友達の声もきいて、
お友達と(先生と)おなじ声であうよ。
どならなよ、やわらかく出して、
あたまたち、シャワーみたいにたして、
水鉄砲ビュッじゃなよ、
口から出す時に、頭からだけ出して、

CDの原盤に
速くうたを
OKにしない

CDの原盤に速くうたをOKにしない

CDの原盤に速くうたをOKにしない

(講師資料より)

音楽の楽しさを実感できる授業づくりのポイントを数多く学ぶことができました。どの指導も、子供たちの気持ちを引き出す工夫にあふれており、今後の実践に直結する有益な学びとなりました。

受講者の感想

専門的な指導の方法や、授業のアイデアをたくさん教えていただき、今後音楽の授業をもつことに少し自信がもてたような気がします。また丁寧な資料やCDも用意していただき、ありがとうございました。

この短時間で、歌や楽器、音楽遊びなど幅広く音楽の指導の仕方を学ぶことができよかったです。ぜひ実践してみたいです。また、教師も一緒に楽しむことが重要だと感じました。

さまざまな領域での指導の仕方を教えていただけてとても勉強になりました。特に、全校合唱の指導は、今年真似させていただこうと思いました。

柿沢先生、お忙しい中、貴重なお時間ありがとうございました。ご一緒させていただいた当時、授業のことや生徒指導のことにたくさん教えていただきました。音楽を専門とされていることは知っていたのですが、実際どのように授業を進められていたのかは知らなかったもので、今日知ることができて本当によかったです。音楽の授業内容について、経験豊富な先生でないとできないことではなく、私のような年数の少ない先生でもすぐに始めることができることをたくさん教えていただきました。私も子供も楽しく音楽の授業ができるようにがんばりたいです！

リコーダーを分解する活動がとても印象的でした。上部管だけを持って音を出す際、当たり前のことかもしれませんが、強く吹き込むのと弱く吹き込むのでは音の大きさが変わることや、「フー」と息を吹き込むのと「トゥー」と吹き込むのでは音の質が変わることを実際に体験し実感しました。上部管だけを手に持つことで、吹き込む感覚に集中することができ、「楽器を操っている」という感覚になりました。また、喉を指で触れてもらうなど、タンギングの感覚も体験を通して理解することができました。これまで私は児童に対して「トゥーだよ」と声をかける程度にとどまっていたのですが、今回の学びを通し、より多様な指導の手立てがあることを知ることができました。本日は、どうもありがとうございました。